

武久顕也市長が再選

瀬戸内市長選挙（5月26日告示）において、無投票で武久顕也市長が再選されました。2期目の任期は、平成25年7月19日から平成29年7月18日までです。



新市議20人が決まりました

瀬戸内市議会議員
（任期：平成25年6月2日～平成29年6月1日）

議員一覧（50音順・敬称略、年齢は7月1日現在）

川野 泰一 62歳・邑久町尻海	角口 隼一 33歳・長船町西須恵	小野田 光 52歳・邑久町福谷	石原 芳高 44歳・長船町長船
小谷 和志 53歳・長船町西須恵	日下 敏久 64歳・邑久町向山	日下 俊子 50歳・長船町磯上	河本 裕志 54歳・長船町服部
竹原 幹 63歳・長船町八日市	高間 直美 45歳・邑久町福元	島津 幸枝 37歳・邑久町豊原	厚東 晃央 39歳・邑久町下笠加
平原 順二 70歳・長船町福岡	原野 健一 58歳・牛窓町長浜	馬場 政教 57歳・邑久町本庄	中村 勝行 65歳・牛窓町牛窓
森 俊之 60歳・牛窓町牛窓	室崎 陸海 68歳・邑久町山田庄	布野 浩子 52歳・長船町土師	廣田 均 60歳・牛窓町鹿忍

市議会議員選挙の開票結果（敬称略）

党派名	候補者（通称）名	得票数
公明党	たかま 直美	1,251
日本共産党	島津 ゆきえ	1,179
無所属	おのだ 光	1,105
無所属	むろさき むつみ	1,081
公明党	河本 ひろし	1,029
無所属	石原 よしたか	994
無所属	布野 浩子	986
無所属	日下 敏久	956,437
無所属	原野 けんいち	942
無所属	馬場 まさのり	921
無所属	中村 勝行	915
無所属	川野 やすいち	905
無所属	森 俊之	863
無所属	平原 順二	862
無所属	小谷 和志	835
無所属	くさか としこ	826,562
無所属	角口 しゅんいち	723
日本共産党	ことう あきお	692
無所属	広田 ひとし	676
無所属	竹原 幹	668
無所属	もりした ひろし	565
無所属	石田 しげき	441
無所属	かげやま 忠幸	266
得票合計		19,681,999

有効投票数	19,681,999
無効投票数	233
按分切捨て票数	0.001
投票総数	19,915
有権者総数	31,614
投票者総数	19,915
投票率	62.99

行政報告

Administrative Report

はじめに

これからの大きな試練は、地域の活性化などの成長戦略と既存事業の見直しを含む財政の健全化の両立です。

成長戦略では、市内のGDPを高めることや地域のコミュニティが自律的に創意工夫を凝らし元気になるような取り組みを進め、税収の確保、定住化、健康的な暮らしの実現を目指します。

財政の健全化の取り組みとして経常的経費のさらなる削減や投資的事業の見直し、施設の在り方の見直し、遊休資産の売却、民間活力の導入などを進めていきます。

4月13日発生の地震対応

4月13日午前5時33分に発



防災行政無線スピーカー

生じた淡路島付近を震源とした、マグニチュード6.3、震度6弱の地震で、瀬戸内市においては最大震度4を観測しました。

午前5時40分頃には緊急配備職員が参集し、情報収集に当たりました。また、6時頃には幹部職員も参集し、警戒体制をとりました。

防災行政無線、メールマガジン、広報車による余震に対する注意喚起を行うとともに、道路、ため池などの巡回、施設の状態確認などを行いました。

公共施設再編方針の策定

幸いにも瀬戸内市内においては、被害はありませんでしたが、市民への広報や自主参集の徹底など反省点もあり、今後の防災体制に生かしていきたいと考えています。

現在、市が所有する建物は約440棟あり、この中で特に施設の劣化が急激に進行するとされる築30年を経過した建物は、現在で約5割、10年後には約8割となることが見込まれています。

昭和の大合併以後、高度成長期からバブル期に建設された施設の更新需要が迫る中、毎年耐震化を含め、施設の維持補修に係る経費が財政上も大きな負担となっており、今後は厳しい財政をさらに圧迫



昭和38年に建てられた長船支所の庁舎

することが予想されます。

このような状況から、従来の耐用年数の枠組みにとらわれない施設の長寿命化など維持更新経費の平準化や、人口減少、少子高齢化などの社会情勢の変化を踏まえた、既存公共施設の機能や配置の見直しが必要となっており、本年度、来年度の2カ年で「公共施設再編方針」と具体的な「公共施設再編計画」を策定する予定です。

用語の解説・備考

緊急配備職員

勤務時間外の大規模災害（震度4以上の地震など）に備え、本庁、支所、出張所に参集し、災害対策本部などの体制が整うまでの間対応するよう任命された職員。

市が所有する建物

ここでは地方公営企業法の適用を受けた公営企業である病院事業・水道事業分を除いた市が所有する建物のこと。市役所本庁舎や支所などの庁舎施設、診療所、コミュニティセンターなどのコミュニティ施設、市営住宅、寒風陶芸会館などの観光施設、消防団機庫、幼稚園や小・中学校の校舎、公民館、博物館、給食調理場など約200施設、440棟。

錦海塩田跡地の活用

産業廃棄物最終処分場の適正廃止に向けた覆土については、国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所からまとまった規模の搬入が始まりました。順調にいけば、本年度上半期で覆土を完了できる見込みです。



オリーブ園から望む錦海塩田跡地

錦海塩田跡地活用基本計画については、関係行政機関や専門家の協力を得ながら、「瀬戸内Kirei未来創り連合体」と連携して「市民の安全安心」を前提とした「地域の活性化」「環境の保全」「文化の振興」の三つの基本理念を

柱とする将来像の実現を目指して策定し、4月4日に公表を行いました。

ごみ減量の結果と今後

クリーンセンターかもめ改修工事については、当初の計画どおり平成24年度末に完了しました。焼却時間の延長に耐え得る施設となり、処理能力は1日当たり30トから43トに向上しています。4月から市全域の可燃ごみを「クリーンセンターかもめ」に全量搬入し焼却処理しています。

平成22年度から実施している「ごみ30%減量作戦」で、平成24年度の実績は8.4%の減量という結果でした。今後ごみ減量への取り組みを進めていきますので、市民の皆さんの更なるご協力をよろしく願います。

工業団地の状況

邑久町本庄の福谷地区、約1.3畝の土地に誘致が決

まっていた養鶏業者については、孵卵施設が完成し、5月上旬から本格的な操業が開始されています。

また、長船町土師の宮下地区に計画している工業団地、約4畝の土地については、段ボールケースなどの製造販売業者への売却が既に決まっています。これについては、県の開発許可に基づく工事の完了検査が済み次第、用地売り払いのための事務手続きを行っていきます。その後、平成26年春の操業に向け、企業側において工場の建設に着手する運びとなります。

新病院の建設

新瀬戸内市民病院の建設用地に係る開発許可については、病院敷地内に調整



新瀬戸内市民病院外観イメージ

池を設ける条件が追加となりましたが、4月26日に許可となりました。

また、事業認定についても4月に県から認定があり、5月1日に土地売買契約を締結し、所有権移転登記を完了しました。

3月下旬から埋蔵文化財の発掘調査に着手していました。発掘範囲が当初計画の1:6倍となったため、工期が若干

遅れる見込みとなりました。

本年7月には造成工事に着手する必要があるため、発掘調査に全力を挙げています。

本年11月からの建設工事着工を目指しています。

新図書館の整備

新図書館については、設計業務プロポーザルの事務手続きに係る公告をしています。

6月29日の第1次審査会において、企画提案書提出者の中から5者に絞り、第2次審査会を7月14日に実施し、企画提案の最優秀者を決定します。

なお、設計委託契約を8月



跡地を含めた用地に新図書館の建設が計画されている邑久郷土資料館

初旬には締結し、平成25年度内に基本および実施設計などを完了させる計画です。

瀬戸内市立美術館の企画展

美術館では、4月12日から5月26日まで、「著名人がつむぐ100歳の詩人 柴田トヨ『くじけないで』展」を開催しました。来館者は予想を上回り、6,000人を超えました。

7月20日から9月1日まで、夏休み企画として、展覧会「イヌの記憶」を開催します。本展は「犬」をテーマに掲げ、岡山県内外の若手美術作家8人の立体や写真などを展示し、子どもから大人まで幅広く楽しんでもらえる企画展です。

備前長船刀剣博物館特別展

備前長船刀剣博物館では、平成23年度から毎年夏休み期間に合わせて若者向けの特別展を開催しています。本年度も7月13日から9月

池を設ける条件が追加となりましたが、4月26日に許可となりました。

また、事業認定についても4月に県から認定があり、5月1日に土地売買契約を締結し、所有権移転登記を完了しました。

3月下旬から埋蔵文化財の発掘調査に着手していました。発掘範囲が当初計画の1:6倍となったため、工期が若干

16日まで、「二次元V.S.日本刀展」を開催する予定です。



展示予定の日本刀（作成中）を手にする作家の小池一夫氏（左）と全日本刀匠会副会長の三上貞直氏

幌加内中学校との交流

瀬戸内市と姉妹縁組を結んでいる北海道幌加内町から、5月17日に幌加内中学校の3年生14名と引率の教諭3名が修学旅行で牛窓中学校を訪問し、牛窓中学校の生徒会役員とレクリエーションや合唱で交流しました。

この交流事業については幌加内町の意向により、本年度をもって終了することになりました。今後、新たな交流の在り方について検討していきたいと考えています。

チャレンジデー2013の結果

5月29日に開催した「チャレンジデー2013INせとうち」では、市民の皆さんの理解と協力を得て、目標としていた市の人口の55%、22,000人を達成しました。最終の参加人数は22,361人、参加率は57.2%となりました。

また、チャレンジデーをきっかけとして、各地域や職場・学校などにおいて、運動習慣が身につく、スポーツを通じて健やかに暮らせるまちを目指して、取り組みを進めているところです。



市役所本庁で行ったラジオ体操（チャレンジデー）

錦海塩田跡地活用基本計画

錦海塩田跡地全体の約500畝の敷地のうち、メガソーラー発電所を建設する敷地は約250畝を予定。

この敷地に太陽電池パネルを敷設することにより、最大230MWpの国内最大級のメガソーラー発電所建設を予定しており、事業収入は、FIT制度の固定買取価格42円での売電収入を20年間にわたって確保する。

発電所の建設工事は平成25年11月頃からの開始を予定。5年程度での終了を目指す。

メガソーラー発電事業の開始は平成30年9月頃を想定している。

新瀬戸内市民病院

基本設計では、病院棟は、地上3階建て。

病床数は、一般病床40床、回復期リハビリテーション病棟30床、療養病棟40床の合計110床。

診療科目は、内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、皮膚科、小児科、リハビリテーション科。

新図書館

邑久町尾張に建設を予定している新瀬戸内市立図書館。

整備実施計画では、蔵書数は20万冊、図書館部分の延床面積は、2,000平方メートル。これに加え300平方メートルの郷土資料展示スペースを整備するとしている。

平成27年3月末までに建設工事を完了し、平成27年8月頃の開館を目指す。

幌加内町

北海道にあり、東西約24キロ、南北63キロ、行政面積は767平方キロ、人口約1、700人の自治体。

旧牛窓町が電話開通の記念通話が縁で交流を深め、平成元年に姉妹縁組を締結した。

チャレンジデー

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベント。

日本全国の自治体などでも開催され、対戦方式で、運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合う。